

しげ きた ふく 茂北福

上物率 94.1%

～育種価 (H30.1解析)～

枝肉重量	36.3kg	B
ロース芯面積	11.9cm ²	A
バラの厚さ	0.80cm	B
皮下脂肪厚	-0.75cm	A
推定歩留	2.31%	A
脂肪交雑	2.86	H



ゲノム育種価に裏打ちされた能力を発揮し、
後代検定成績歴代最高!

父が「北福波」、母の父は「平茂勝」。子出しが大きく、産子の多くが出生時体重**40kg**を超える。

ゲノム育種価における高評価のとおり、産子を肥育して行われる後代検定では、歴代最高の成績を修めた。**種雄牛別の育種価 (H31年1月解析) についても脂肪交雑で1位を獲得**するなど、今後の活躍がますます期待される。

産地:宮古島市 生産者:(有)下地畜産

北福波 (83.1)	北国7の8	第7糸桜
	はくあり	安福165の9
しょうの (79.1)	平茂勝	第20平茂
	あきこ	北国7の8



九州管内系統和牛枝肉共進会出品牛(福岡)

茂北福-福之国-平茂勝

BMS No.11 枝肉重量 **471kg** ロース芯 **59cm²**
 バラ厚 **9.0cm** 皮下厚 **1.8cm** 歩留基準 **75.5%**

平成31年2月に京都で開催された現場後代検定合同調査会に**茂北福**は沖縄県代表として9年ぶりに出品され、出品牛4頭の平均BMS No.が8.75を記録し全て上物に格付けされた。

茂北福は母牛の血統に依らず、良好な枝肉結果が期待できる。また、産子は発育に優れるため、胸囲はあるが体高の低い母牛の欠点を補完できると考えられる。

現場後代検定合同調査会出品牛(京都)

茂北福-忠茂勝-安福久

BMS No.11 枝肉重量 **536kg** ロース芯 **73cm²**
 バラ厚 **8.8cm** 皮下厚 **1.9cm** 歩留基準 **76.4%**

